

R. I. District 2610. ROTARY CLUB OF UOZU

魚津ロータリークラブ 会報誌

2012-2013年度 RI会長 田中 作次
2012-2013年度 魚津RC会長 野澤 良成



第2865回 例会報告

2013年3月29日

点鐘・握手

ロータリーソング「我等の生業」

ゲスト並びにビジターの紹介

ゲスト：魚津西RC会長エレクト 原 英高 様
ビジター：魚津西RC 吉田 築夫 様
魚津西RC 柴垣 尚一 様



誕生祝

4月8日 寺田さん



3月は忙しくて2回目の出席です。何歳になっても誕生日は嬉しいものです。特に4月8日は新学期のばたばたの時期で子供の頃からきちんと祝ってもらった記憶がなく、今年になり、大勢の皆さんに祝って頂き嬉しく思います。

この1年は、2月18日に父が杞憂し、ゲストとして来て頂いている西RCの皆さんにお世話になりました。今日までは、中味が濃く、忙しくやっと1年という気がしています。この1年間は皆さんと知り合いになったことだし、もっと親交を深めることと、この1年間、自分のために何もできなかったのが、体を動かす事を一生懸命したいと思っています。

ロータリーの会合に真面目に出席していきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

会長挨拶



一週間休むと、ここに来て、皆さんの顔を見るのが照れくさい気がします。1週間前には、寺崎前会長さんは「とにかくロータリークラブは仲良くなければだめだ」とそれだけ言われたと聞き、ホッとしています。

最近、日中は春らしくなって来ているとはいえ、朝晩はまだまだ寒いので、風邪をひかないように十分気を付けて頂きたいと思っております。

今日の誕生日のお祝いは寺田さん、例会の関係で早まりましたが、おめでとうございます。

本日の卓話は、会長エレクト交換卓話として魚津西RC会長エレクトの原英高さん、後ほどよろしくお願いたします。又、原さん一人では心配だという事で前ガバナー補佐の吉田さん、元会長の柴垣さんにも例会に参加して頂き誠にありがとうございます。次年度の事業計画等は原さんの仕事柄、もう殆どしっかりした構想が描かれているものと思っています。三人の皆さん、どうか、里帰りしたつもりで肩の力を抜いてゆっくりして行ってください。

先週の例会は、地区のインターアクトの海外研修で、3月21日～25日の4泊5日の日程で台湾に行ってきました。メインであった台北市の祐徳高等学校訪問では今まで経験したことのない盛大な出迎えを始め、歓迎セレモニーがありました。前もって用意していた挨拶文を変更し、その場で挨拶させて頂きました。100人ほどの生徒が並んで国旗を振っていました。そこまでやって頂けるとは夢にも思っておりませんでした。ホールの階段ステージの所で100人の子供達と校長先生、教職員の皆さんに出迎えて頂き歓迎式典をやった時これを頂きました。皆さんに見て



頂きたいと思い、持ってきました。

昨年のオーストラリアの時、金額がかなりオーバーしましたので、中尾年度では150万円以上もアップしてもらったにも拘らず、昨年領土問題の件での影響がかなりあり、見合わせた学校もあり、今回は9名の高校生、引率の先生が1名とロータリアンは私を含めて2名、総勢12名で行って来ました。いつもは石川県が7割、富山県が3割でしたが、今回は魚津工業高校が2名、南砺福光高校が2名、砺波工業が1名、高岡高陵高校が1名と石川県の遊学館高校2名、加賀中央高校が1名でした。男性が5名、女性が4名でした。

しっかりと子供達を見張らなければならないと思っていましたが、反対に見張られて、出られず保養に行ってきたような感じです。今回ほどお金を使わなかった旅行はありませんでした。

さて、魚津RCの活動もこれから一番忙しくなる時期であります。残りの3ヶ月は野外例会や夜間例会が多くあります。4月7日(日)の例会である親睦委員会担当の日帰り旅行には多くの皆さんに参加して頂きたいと思います。会員の皆さん方のご協力をよろしくお願い致します。外に出る事が多くなりますが、いつもの決まった例会場ではなく、外に出るの例会に積極的に参加して頂きロータリークラブの活動を満喫して頂きたい。

幹事報告

- ・ 4月例会案内
 - 4月 7日 親睦日帰り旅行 場所：雅楽俱
 - 4月12日 ゲスト卓話 魚津工業高校 (サンルート)
 - 4月19日 野外例会 (桃山運動公園)
 - 4月26日 夜間例会 (いけがみ)
- ・ 4月SAA補助 坪野、大村、岡崎 君

出席報告 坪野出席委員

本日の出席者 34名 出席率85% 欠席者 6名
メイクアップ済み 愛宕さん 川岸さん
2863回のメイクアップ 三島さん 宮本さん
2863回の修正出席率 70%→75%

ニコボックスの報告 吉森ニコボックス副委員長

- ・ 魚津西RC原さん→本日は卓話の機会を与您して頂き有難うございました。次年度はよろしくお願い致します。
- ・ 野澤さん→地区のインターアクト台湾研修、無事に行ってきました。(卓上のチョコレートは会長のおみやげです。)

委員会報告

ビール券・商品券寄付のお願い 吉森釜山釜一友情交換委員長

- ・ ビール券・商品券寄付のお願いをしていますが、私が不在の時は事務局まで届けてください。よろしくお願い致します。

日帰り旅行について 中田親睦委員長

- ・ 楽しい一日になればと思っています。ご協力お願いします。

本日の卓話

会長エレクト交換卓話

「私のロータリー」 魚津西RC会長エレクト 原 英高 様

本日はこんな貴重な時間を作って頂きありがとうございます。時がたつのは早いもので、いつの間にか会長になるようになりました。先々週、若井会長エレクトと一緒に次期会長研修会に行って来ました。その時点でだいぶ気持ちも盛り上がってきてそろそろ会長かなとの意識があったのですが、今日はスポンサークラブに来て卓話をせよという事で意識が高まってきました。



私のロータリークラブ経歴

- ・平成4年7月入会／10月地区大会
- ・平成10年 30周年記念大会
- ・平成16年 RI世界大会in大阪
- ・平成18年 幹事(長田会長年度)
- ・平成20年 40周年記念大会

平成4年7月に入会し、まる20年たちます。スポンサーメンバーは田代昭夫さんでした。仕事柄、建築の神事に神主さんがつき物で、地鎮祭、竣工式、修祓式等色々な場面で田代さんにお会いする機会があり、その時にロータリーに入ったらどうだとのお誘いがありました。有名な社会奉仕団体という位しか知らなかったのですが、今でも忘れないのですが、田代さんはお誘いをちょうどある会社の修祓式で神棚のセットをしながらおっしゃいました。神がかり的で、これは断れない関係になり、快諾し、入会させて頂きました。ロータリーに入ってから吉田さんに可愛がられてどうにかここまで過ぎてこれました。

入った時にちょうど地区大会がありました。入善の米山さんがガバナーになられ、なぜ魚津クラブを差し置いて西RCが地区大会をやったのか経緯は分かりませんが、西RCでやることになっていました。入会してすぐのもので、右も左も分からないまま地区大会を終えたとの感想です。10月31日から総合体育館で開催しました。記念講演のムツゴロウ先生こと畑正憲さんの声が小さいのにまして雨が降り屋根の音で何を言っているのか殆ど分からない状態でした。

うちのクラブはきりの良い時に記念大会がありました。

30周年の記念大会が平成10年、平成16年にRIの世界大会が大阪であり、行って来ました。平安神宮で千宗室さんと撮った記念写真が見当たりませんでしたので、きれいな芸子さんと撮った写真を持ってきました。

平成18年、長田年度に幹事をやらせて頂きました。平成20年に40周年記念大会をやりました。もうすぐ40数年という事です。

ローターアクトクラブの世話を長い間やっていました。36歳の時に入会しましたが、6つ下のかみさんがローターアクトに間違えられたことがありました。うちの息子はオーストラリアに行って来ました。



ロータリーの中でどんな社会奉仕活動をしていたのかと問われると殆ど覚えがありません。ロータリークラブで最も重要と言われている職業奉仕の事は20年位、仕事をしてきたので紹介できると考え、建築作りで社会に奉仕という事で、係わってきた仕事のスライドを紹介します。

- 桃山運動公園100mゴール判定室
国体の認定を受ける為建築、アンバランスな形のものを作りたいとの思いで作った。
- 魚津市営住宅上野方団地
瓦屋根でなるべく高さを抑えて作った。
- 富山二番町教会
- 春日公園足湯
ガラスの箱のモダンな足湯



公共建築物というと鉄筋コンクリートしか作ってはいけないような風潮が長くあった。

日本の山はブナ、ナラなど実のなる広葉樹だけで杉などの針葉樹はなかった。戦後、間もなくスギを植林した。針葉樹の杉林をそのままにしておく次の時代への循環が行われない。木材は植林～育成～伐採～植林と循環していく事が重要なのです。木材は

環境問題に貢献する森林

- 木材は
植林～育成～伐採～植林
再生可能な循環型資源
- 樹木は二酸化炭素を蓄積
木材重量の約50%は炭素



再生可能な循環型資源である。

木は伐って使ってあげないと意味がありません。伐った後、植林し、次の世代につないで行くのが木のあり方である。木を伐らないと日本の山が死んでしまうという不思議な状況もあって建築物で木を使いましょうという話になってきている。

木そのものがCO₂の塊みたいなもので、それを大事に使っていく事でCO₂の削減につながるの切り口があります。そんなこともあり、木材の有効利用、それを使うために公共建築物を木で作らしましょう、去年そんな法律もできたので、これから一般的になっていく事だろうと思っています。

10年程木材を使う公共建築物の仕事をライフワークのようにやっています。きっかけになったのが小杉にある木材試験場です。

- 富山県木材試験場再整備事業の概要
設計をしながら木材について係わりが深くなった。
- 魚津市立道下児童センター 愛称：すずめ児童センター
形と名前が一致している。日差しが入る工夫。木材の地産地消。
- 魚津市立上中島交流センター 愛称：魚津もくもくホール

魚津市立上中島交流センター

愛称：魚津もくもくホール



市内2ヶ所の伐採地で地産地消した。

地域の木材をそのまま使い組み立てたという事で、全国でも評価を頂き、国交省が初めて作成した「木造計画・設計基準」の事例に全国から選ばれた17点の中に入り、紹介された。

- 魚津工業高校学校・機械科実習棟
- 庄川・川金いろり茶屋

あとがき

会長エレクト交換卓話は、ライフワークと言われるだけに、「さすがプロ」と感じさせられた。環境問題を視野に木造建築物の必要性・有用性を理解した。自信あふれる話しぶりの背景も察することができた。

個人的な事になり、恐縮だが、大先輩の会員から、卓話に関して「卓話風景スケッチ写真」を頂いた。卓話内容から、教え子達の現在を憶測したコメントが付いていた。過分な褒め言葉ではずかしく思った。しかし、嬉しかった。

人のやる気を育てるプロから多くを学んだ。